今後の為替相場を大胆予測

今井 雅人

パウエルFRB議長の危機感

- 「ターミナルレートは予想以上に高くなる可能性」
- 「インフレ率は低下しているが、非常に高い水準」
- 「コアインフレが期待ほど減速していない」
- 「FOMCより前の経済指標が重要。求人件数とCPI、PPI、雇用統計に注目している」

ECBも利上げ続く

- ホルツマン・オーストリア中銀総裁
- 「景気抑制的な金利は4%からと見込む」
- 「更に4回の50bp利上げを見込む」
- 「3月、5月、6月、7月に50bpの利上げを行うべき」

利上げの停止が見えたオーストラリア

ロウRBA連銀総裁

- 「RBAは利上げ停止に適したポイントに近づいた」
- 「インフレ率は低下傾向にあるようだ」

植田日銀新総裁はどう動くか

- 4月8日から植田日銀新総裁がスタート
- 初め3ヶ月は安全運転
- しかし、どこかでYCCを撤廃する可能性

各国の政策金利

日本	-0.1%
アメリカ	4.5 - 4.75%
ECB	3%
イギリス	4%
カナダ	4.5%
オーストラリア	3.6%
ニュージーランド	4.75%
メキシコ	11%

アメリカのCPI推移

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
7.5%	7.9%	8.5%	8.3%	8.6%	9.1%	8.5%

8月	9月	10月	11月	12月	1月
8.3%	8.2%	7.7%	7.1%	6.5%	6.4%

EU圏のCPI

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
5.1%	5.8%	7.5%	7.5%	8.1%	8.6%	8.9%

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
9.1%	10.0%	10.7%	10.0%	9.2%	8.6%	8.5%

3月の予定

7日	RBA政策金利発表
8日	BOC政策金利発表
10日	日銀金融政策決定会合
10日	米雇用統計
14日	米CPI
16日	ECB理事会
22日	FOMC
23日	BOE政策金利発表

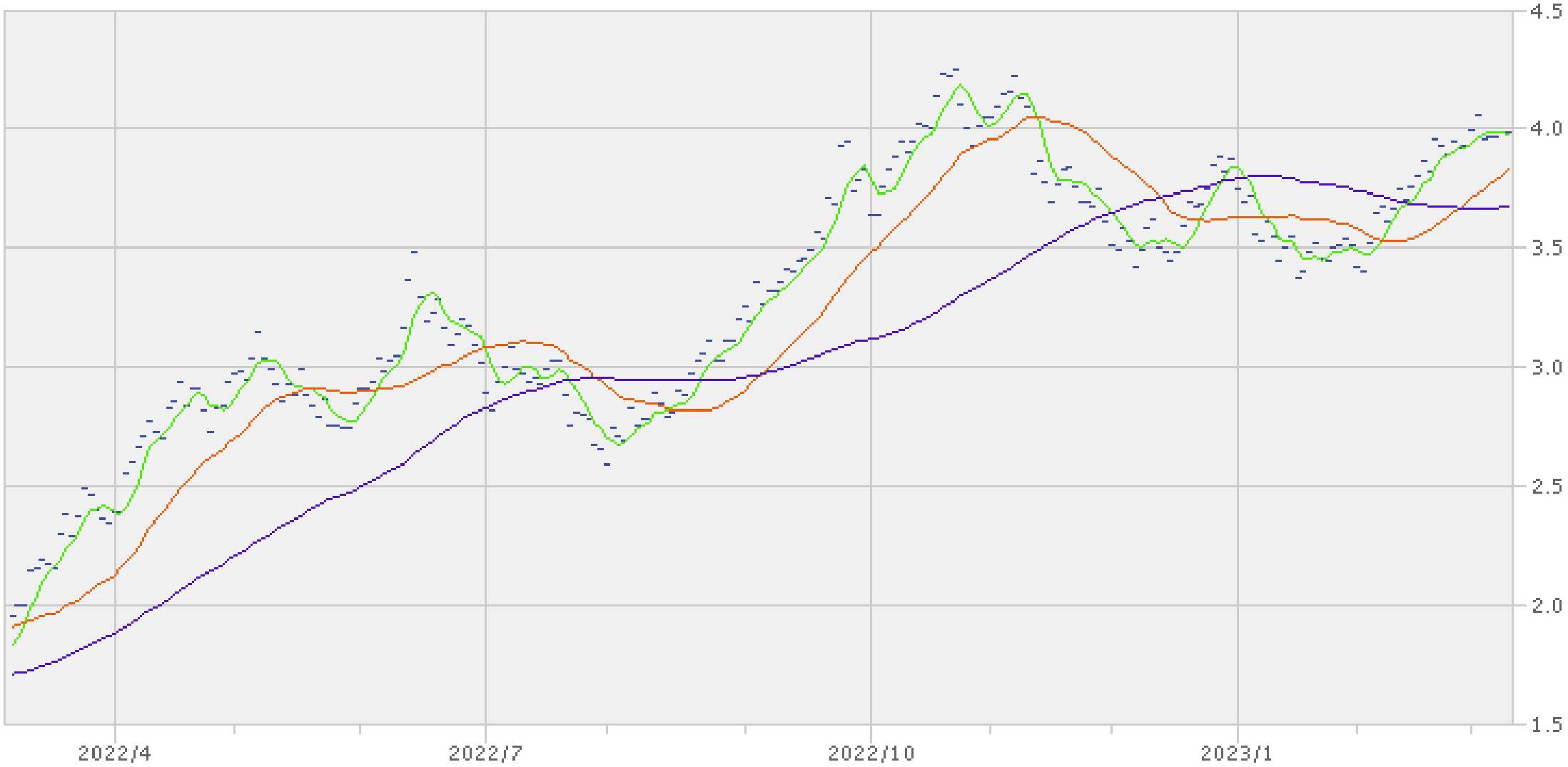
4月の予定

4日	RBA政策金利発表
7日	米雇用統計
12日	BOC政策金利発表
12日	米CPI
28日	日銀金融政策決定会合

5月の予定

2日	RBA政策金利発表
3日	FOMC
4日	ECB理事会
5日	米雇用統計
10日	米CPI
11日	BOE政策金利発表

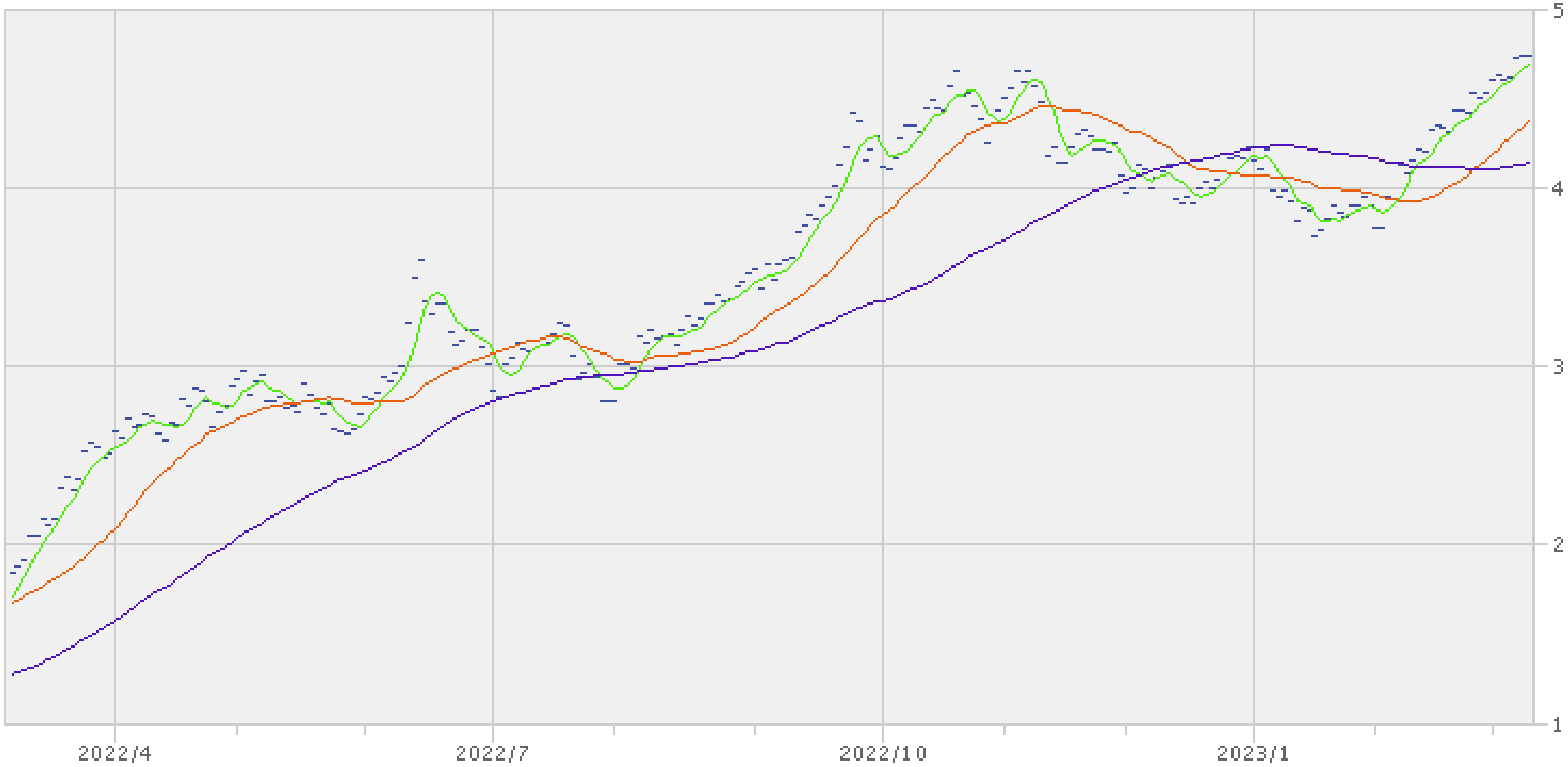
アメリカ国債10年



単純移動平均（5日）　単純移動平均（25日）　単純移動平均（75日）

（出典　楽天証券）

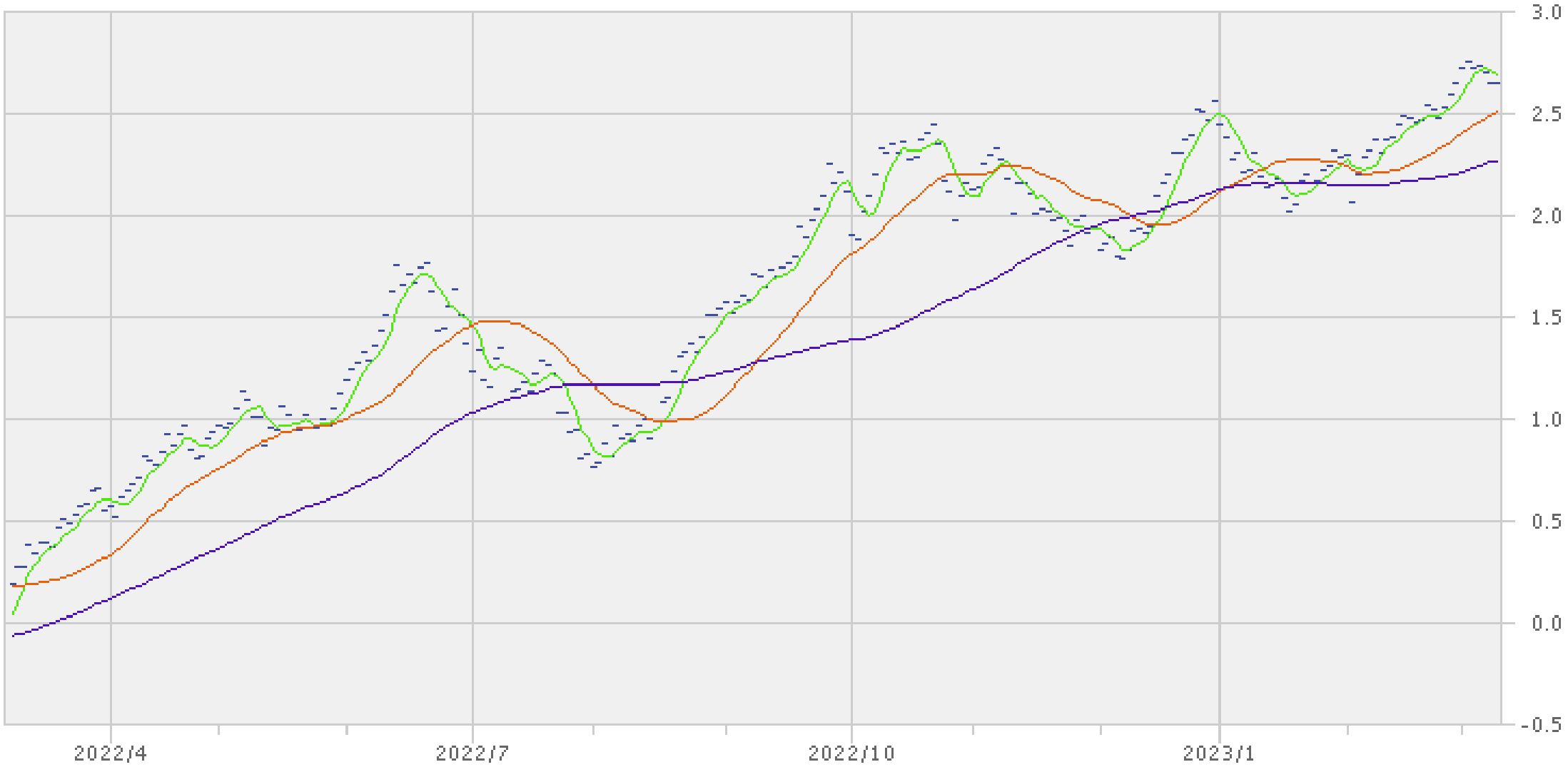
アメリカ国債3年



単純移動平均（5日）　単純移動平均（25日）　単純移動平均（75日）

（出典　楽天証券）

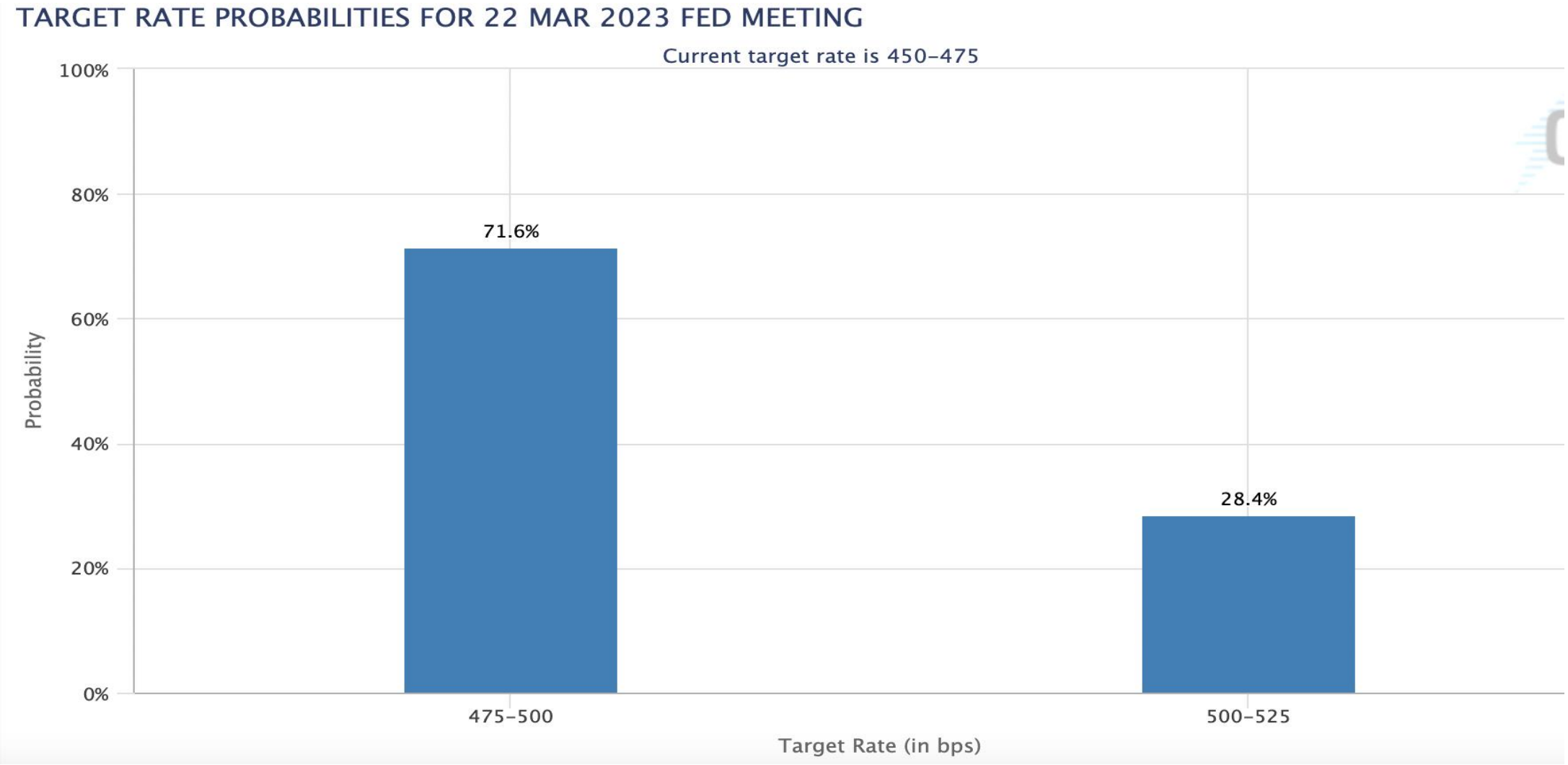
ドイツ国債10年



単純移動平均（5日）　単純移動平均（25日）　単純移動平均（75日）

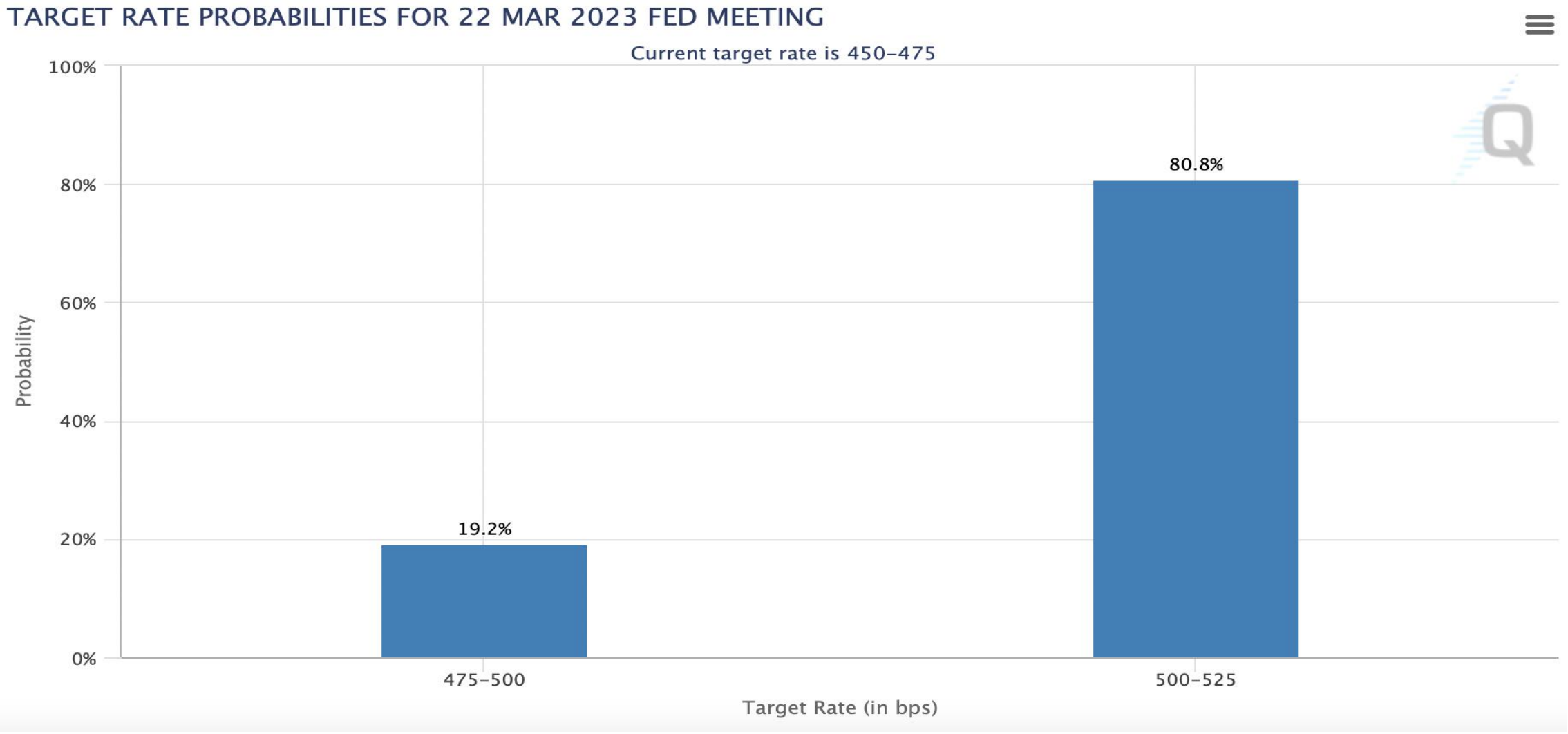
（出典　楽天証券）

3月時点のFFレート予想



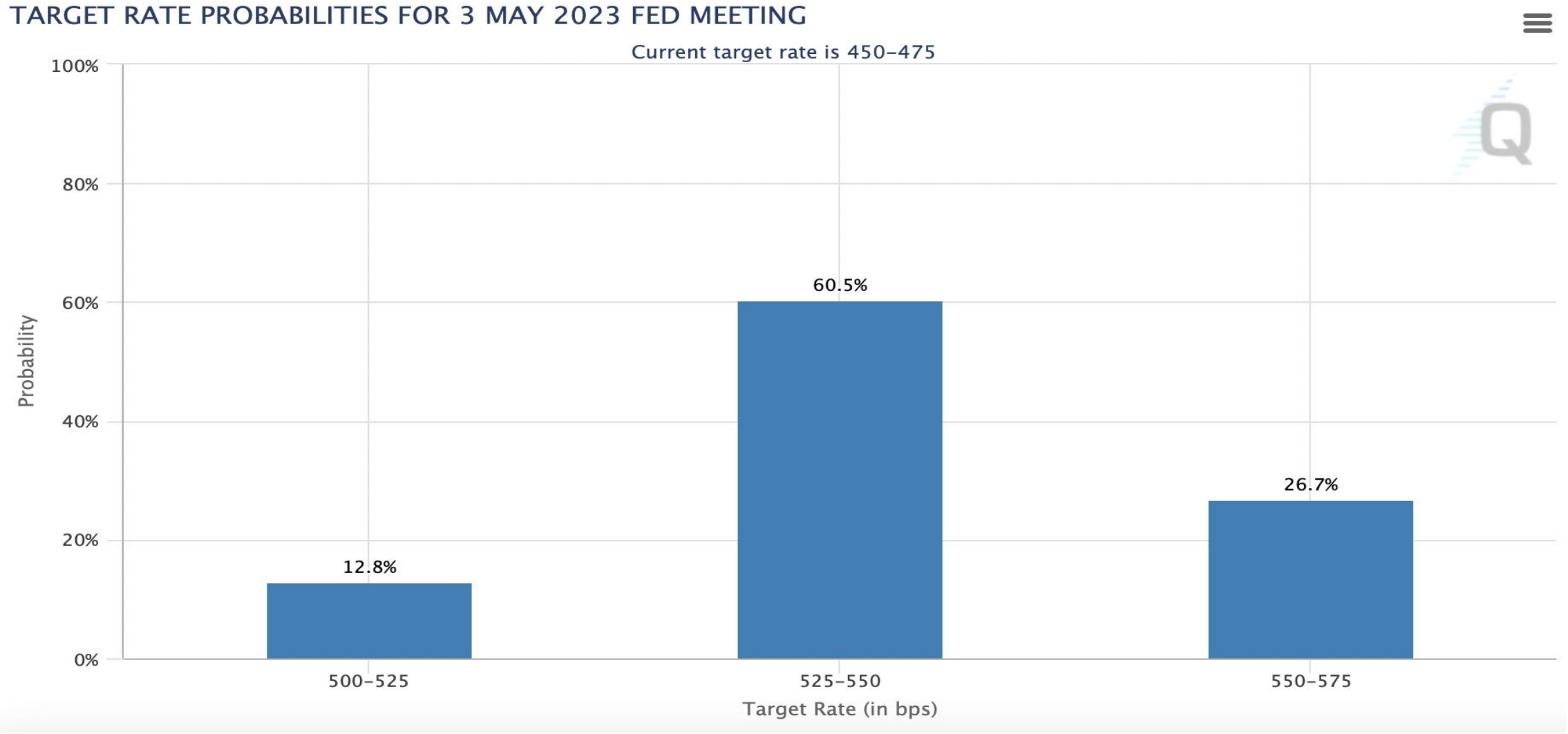
（出典　CME Group）

パウエルFRB議長前



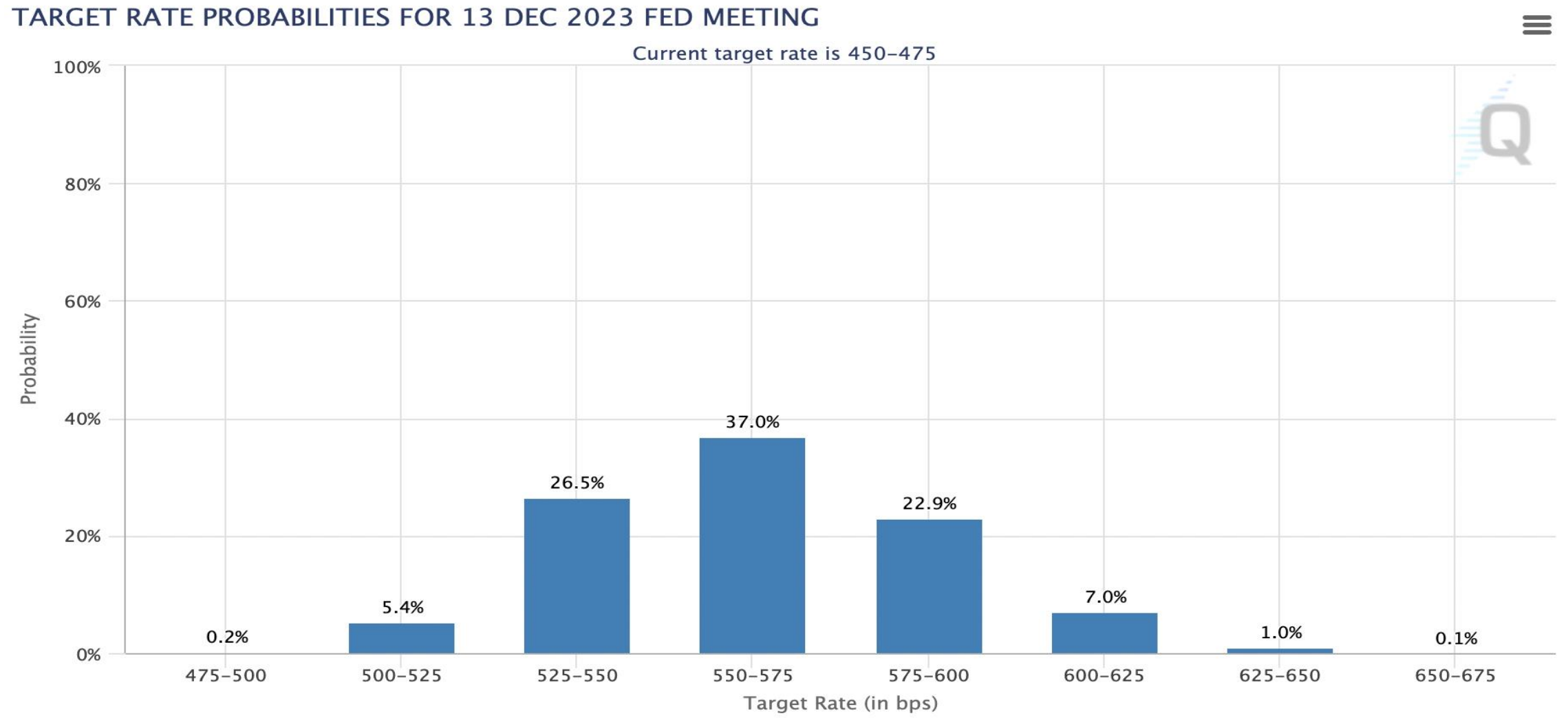
（出典　CME Group）

5月時点のFFレート予想



（出典　CME Group）

12月時点のFFレート予想



（出典　CME Group）

メキシコの特徴

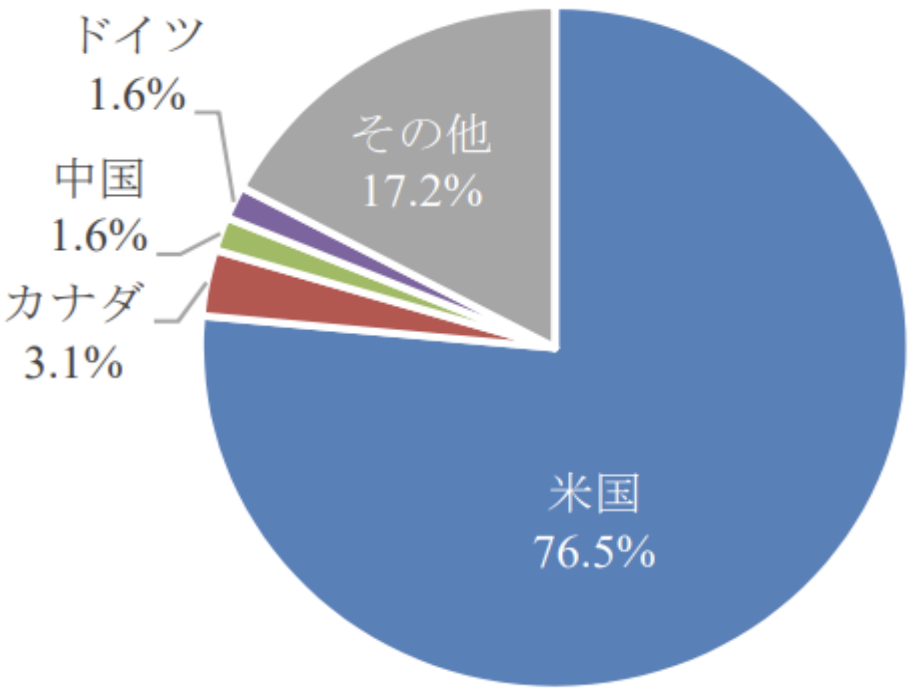
- 他国に比べて、貿易への依存度が高い

- NAFTAにより、貿易はアメリカとの取引が突出
  （輸出は約8割、輸入は約5割）

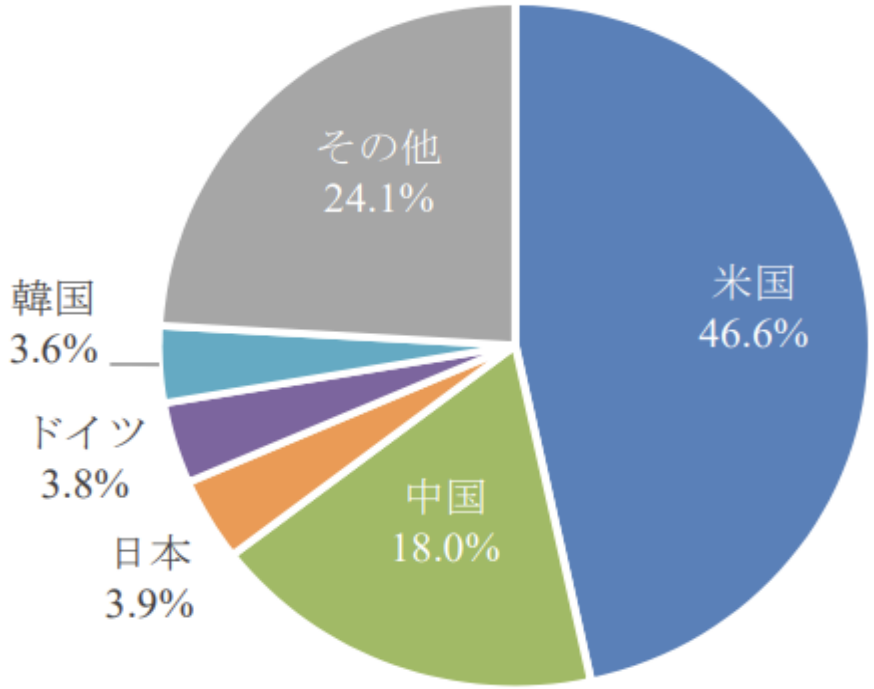
- GDP 2022年は3%程度の成長率

メキシコの貿易相手

【輸出】

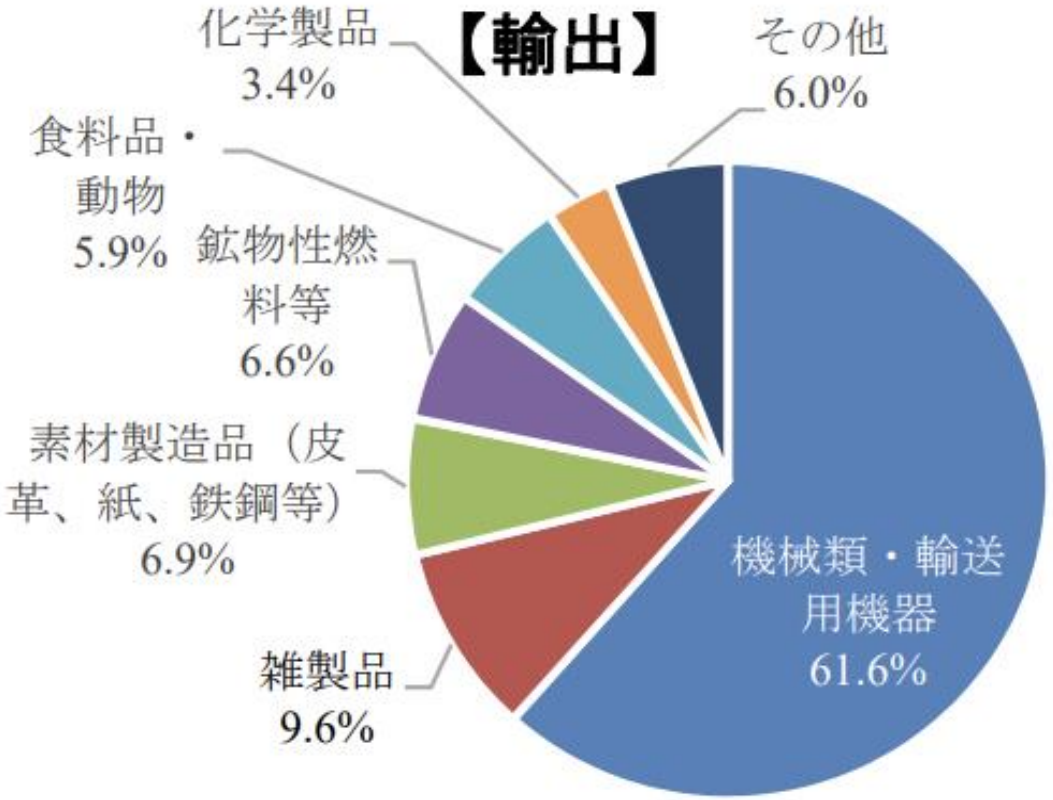


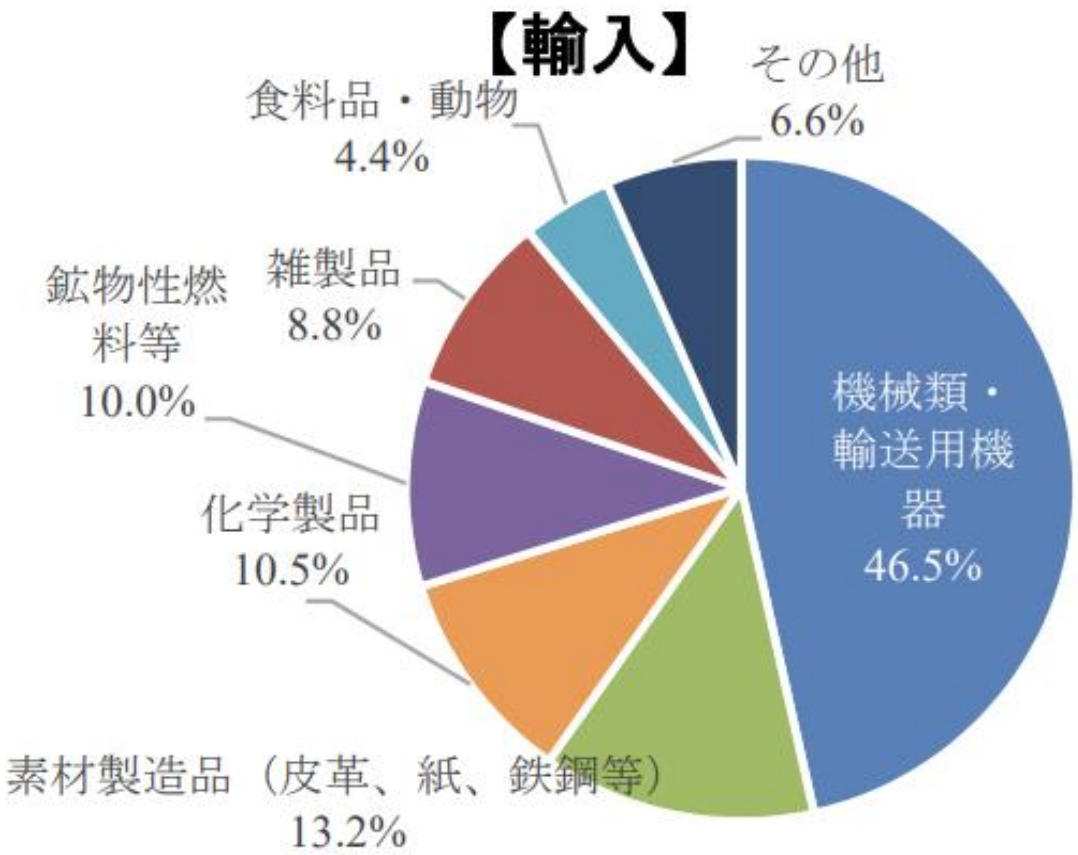
【輸入】



（出典　ジェトロ）

メキシコの貿易

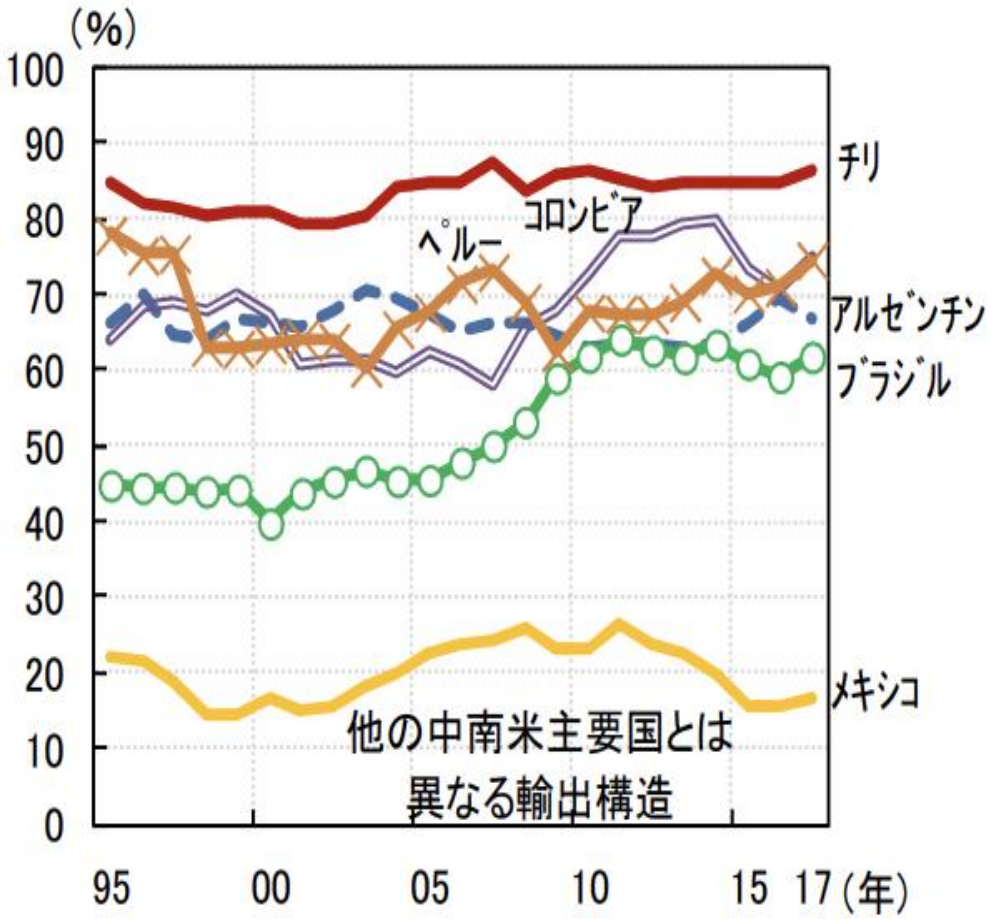




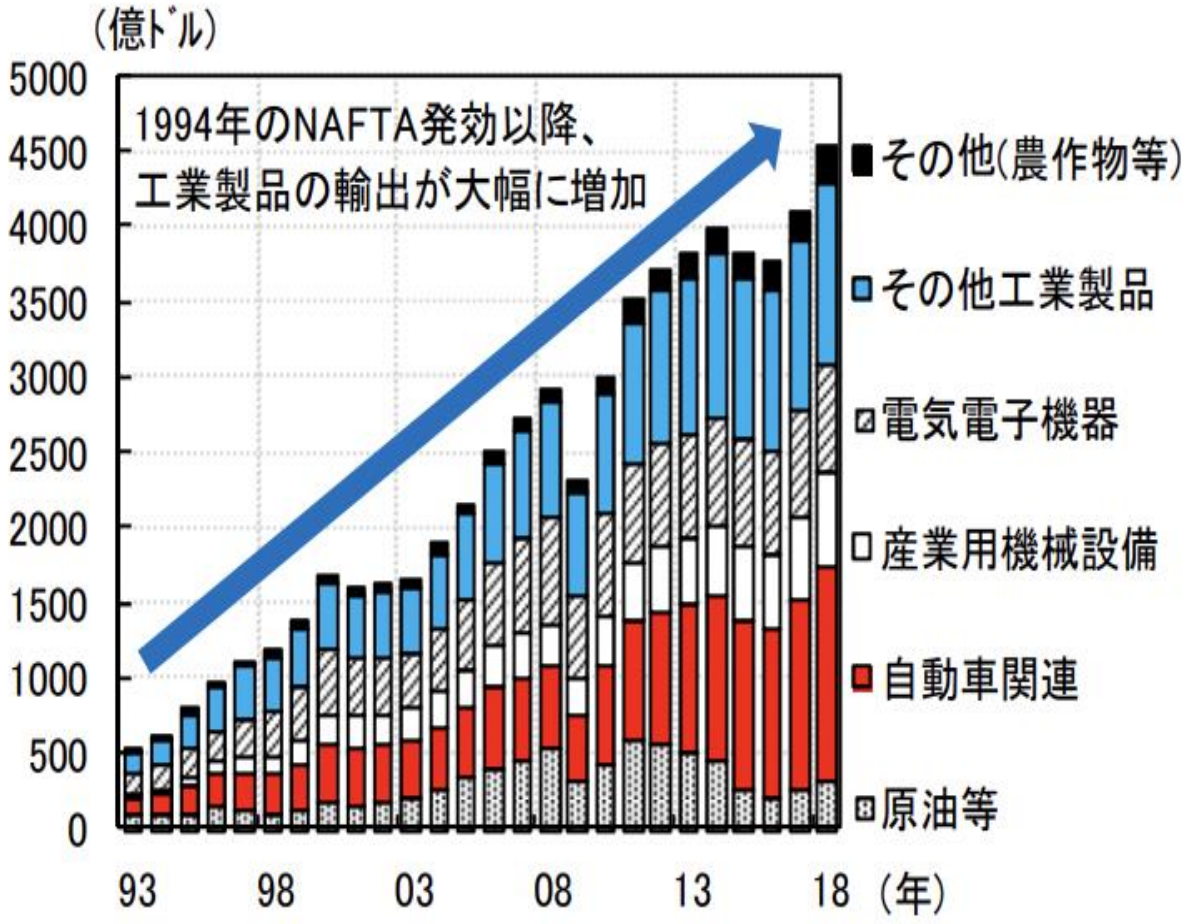
（出典　ジェトロ）

メキシコの特徴

図表１ 輸出に占める一次産品比率



図表２ メキシコの輸出



（出典　ジェトロ）

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

〔楽天FX口座〕レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4口座〕想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて【（例外あり）について】

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。

なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

■平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）■国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）■主要経済指標の発表前後

■震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

■ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なることがございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではございません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいます様お願い申し上げます。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

株価指数CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して10%以上、商品CFDは個人口座、法人口座とも取引の額に対して5%以上の証拠金が必要となります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスクと費用等について

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスク

当社の取扱う店頭通貨バイナリーオプションは満期時（判定時刻）に権利が自動行使されるヨーロピアンタイプのオプション取引です。取引対象である通貨の価格変動が予測通りとなった場合には利益が得られることもある反面、予想が外れ権利が消滅した場合、支払ったオプションの購入金額を全額失うこととなります。また、オプションの購入価格と売却価格には差（スプレッド）があり売却時に損失を被る可能性があります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかる費用等

店頭通貨バイナリーオプション取引の取引手数料は無料です。

オプションの購入価格について

1枚あたりの最大購入価格は999円です。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会